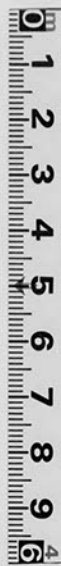


映面街

創刊號
(福四將夫主宰)

福田守夫
水鏡江
常山
鈴子
南博二
石三
志

行發社詩草待宵



EIGA GA,



創刊號

映画街目次

表紙
カッパ

月形陽侯の演技礼讃と 映画思想の解剖に付いて	福田 将夫
映画には顕微鏡を！	小林 多喜二
ペンの走りのまゝに	常磐美知男
光と影への宣戦	福田 静光
正館の友なげく	河井 義三
平映画界の進出！	中水 秋江
1928年度印象映画合評	静光秋江将夫
昭和四年に向つての希望	町田 英治
窮	北野 雪子
俳優の肉体的約束	和田 貞夫
編輯・後記（余瀆・静光）	福田 将夫



映画思想の解剖に付いて

(上) 福田 将夫



他の事は餘り云はん事にする。月形が、最も私を強くひきつける鮮やかな特色を、起算として、彼の映画に響く一解剖。此処に試みたい。

私は過去、昭和三年度に於ける作品の、その一角を擲へて、忘却した場面を、想像して、ほつ／＼書き並べる事にする。

月形の作品は彼獨特な、冷たい人間の、変体的な、悪魔的な、人間の心理を、極度に表現してゐる。一二の例をあげれば、毒蛇の由利君の性格や、破れ傘の目下郎の性格など、外に、涙、回谷怪談、霧の夜話、等々、これ等の作品は、彼の特色を、最もよく含み、表情、動作、内面外面の心理描寫、これ等の演技價値に、圓熟した演技を示し、超越した映画道の照訓である。

きな時々のことか。予備で、夏川静江の「愛の街」を見て、其よりインセンスな
面ではあるが、はるかに正のシーンになり、その二つが紅夜の孫娘と、模範職工に
よつて、よくある手だが、うきうき協しどうになると、顧客は、とと拍手した。つ
た、拍手をけるのは、一、監督は、に結構面があるぞ、と云ふ。然し顧客は楽し
み、自分から、一、この教習を、い、協調を、を吸ひ込んで、顧客しければなら
い。プロレタリアの意思を、まるで、二百十日の満りを吸つて、梅のやうに、夕方に
してしまふではないか。

B

だが、これはさう一つのかたまりでないことは、自分がかつて一回、足かす
となく「シネマト」に書いて来た後で、明らかにしてゐることである。と信じてゐる
そして又それから、この事は自分は讀んで行かなければならぬし、續けて行かう
と思つてゐる。立場の無い人間があつたとしたらそれは出雲でしかない。だから自分達
映画を見る人、若くは、何でも意識的であれ、無意識的であれ、今日の立場にハッキリ
つてゐる。アルシヨアはアルシヨウに、インテルゲンチヤは矢張りそれに、中間的論議
や教則的、教育的には、プロレタリアはそれ故に又必然にメキ的な態度を以つて、無
です。それからそれによつて見られるとき、それは映画の本質をハッキリつかみ得るが
たつた一つ「プロレタリア」の立場こそ

「プロレタリア」の立場か？ それではマルクスによつて、百バアセントの通説を
つて論議されてゐるやうに、詳しいその相性は勿論、はその場所ではないが「マル
シウ社会」に於て、唯物辯證法的に、次の社会への担当者であり、今の社会の、ど
不賢的な社会、批判者であり得、現状維持の、必然的な社会的矛盾の、促進、
と丁度反対な、一言で云へば、進歩的な、革命階級だからである。

こんな事は「プロレタリア」には面白くない。理窟などは、もう捨て、美しい馬鹿
を考へてゐることを、重んじてゐるやうではないか。文学は己にプロレタリア文学を
ある。絵画もさうだ。演劇でもさうだ。然し……

「映画」……色々な事情のあることは知つてゐる。だがとにかく、プロ
レタリア文学をイヤ、プロレタリア映画を持たないのは、一、近頃東京で、
あるやうだが、持てない？ それは色々な問題が結び合つて困難な道であらう
では「映画を見る人」だけでも、ハッキリ、マルクス主義的な立場で、批判して行く
「素考」を持たなければならぬではないか。

それを持たない。……この立場こそ、大衆を「映画の阿片」から、正しく救ふ一
ものではないか。何より映画はまきになつて見ることだ。自分は「伯林」「サアカス」
「雪崩」「サンライズ」「人の世の姿」「関」「チヤフィン」五所平之助、伊藤大輔、

我輩員工即、シヤク、フエデエ、スタンバーク——ハ雪恵美子、渡辺篤、バンク・ロフト、ウラホウ、フアレル、ゲアナ、ヤニックス、マクラグレン……等々に付いて色々なことを云つて見たかつた。

一九二八年度下期に於てこれ等に平陽映画界に忘れられない足跡を残したやうに思はれるからである。然し、今はとてもそれはできない。をが、諸君と共に、回顧的ではあるが「精算」して見る多くのものを含んでゐると思ふ。——これは「宿題」としやう。「シネマ」を愛する諸君！

我々は映画劇場へ、必ず堂々の顕微鏡を持つて行くことを約束しやう！ マルクス主義の顕微鏡を！

（一九二八——二、三〇、一）

ペンの走りのうゝに

常磐 美智 男

酒田君と約束はしなうか、何にを書いたらい、のか、マ、ヨ。ペンの走りにまかせ、等々せう。悲しみの多い昭和三年であつた。美智男も可成大きな貢献を平陽映画界に、付けてゐる。これは「ア」諸君にも見止めて貰ひなうか。或はなうか。旧暦早々には子

（同志の者によつて、常設館が上映の難としてゐた。松島がロダクシモン作品の三編を劇場に公開、二月中旬には、僕個人によつて「昔金狂時代」は有る座に、七月には、

僕等同志の者に依つて平劇場に解諸君、玉井旭洋を以つて、「レミセラフル」八月上

には僕の主演した平映画「ア」聯盟の發会式を兼ね、「肉体の道」バビコン城の発會

神を助けて力を提供し解諸君に深井三郎を以つてした「ボーレス」イントレランス

僕等同志に依つてなされたこの事は、常設館に遠大なるセ、ツシモンを起した、前

任、セラフル、肉体の道、の三映画を以て、常設館に於て上映するべく、權利金共

他は事情が、映し得ないものであつた。それが、やうく、と公開されたのだから、常

館として「ア」に食はる顔がなかつたのだから、平館は、僕等同志、つばき、に依つて

をにこし、後、近由公開の空宣傳に依つて、「ア」の生々を賣つて、有る座は三、常設の

裏と共に「ア」方針を一度した。有る座によつて吾々「ア」に提供された大別は、サ

ス、常設の常設、ホルカの船、アラスの海賊、東京への道、が、たつた。散り行く花

これ等は、諸君と吾々同志によつて行された事に、刺戟された。かゝるものであるが、つ、美智男

行るもの「ア」諸君から感謝状を載せても、

僕が自分自身の物すき半分に有る座のニュースを發行したか、その大部分は、自費出版

たつて、通産省としては、かなり行方不明なところから長く正統してゆく欲しかったらしいが、心算がうす体の戦況を害しを憂へ、營業方針も僕の意見に全々反したのであり、是れは多年の計畫實現し平劇場を、自分の手の中に入れ、これにて終ることにしたので、映画ニュースの發行を廢止してしまつた。今後しはうくは自由な立場にある心算だ。平劇場、あやがある平の映画界も、かなり面白くものになつたのだから、あんな事になつてしまつたので、そこには言ひこんで居る人もある事をうろたへ、多の計畫は全くやつて十二月一日より僕の經營に移り、すく内々の修理に取掛つた。大興業は全館新製九分通りは出来上つた。營業方針は映画と活劇常設で、映画の方は各でも十分氣をもちたつた。某社買収と四五年前より話がつてゐたので、其方に全館まかせることにした。其社こそは現在日本映画界の最高權威であり、内容のも充実した会社である。某社の東北道出は多年の計畫であつたので、今後平劇場を根拠として東北道出といふ、東北配給映画は全館手に於て封切する事になつた。つまり如なる特作品でも東京と同時に上映出来ぬ事であつた。そして入場料は他館よりも安く、通産省も歓迎した。特許とか権利金、そこが云ふものが不用故安くとも充分の利益があるのだ。一週間の中前の四日間だけ映画上映、あとの三日間は演藝の方へ小座敷と小風にする事になるので、旧正月開場する事になつてゐた。開館出来るとすおは、鼓

の意に於ても、以前の劇場とは一回一新し、東京以北に於ける第一の映画劇場とばかり思ふところであつた。某社のスクリプト運は、はるばると京都より来り、その意に按ずり、同形陽儀も東北道業の途上凍するはずであつた。今にして思へば、居のやうながする、僕として、上東東を期してゐる。映画ファン聯盟も、劇場を賣場として大い活動する心算で居たが、共に煙になつてしまつた。しかし僕等一家の面の上からしてこのまゝにする事は出来ぬ。僕等、僕等後の未知天の活躍を期待して欲しい。

平映画ファン聯盟、昨年度は主筆者なる僕が、劇場等の為め働くことが出来ず、金会式上げたので、家はきつ、バルカの指導、の推選をしたのみだつたが、本年はいろいろ動いて映画界の爲めに貢献して見たいと思つてゐる。劇場と云ふ環境地を先してゐる。會期待をせうはあつかひがたいし、孔は、出来ただけの事としてゐる。僕等のペンネームは、昭和まさを、佳東東、保、等を併用します。互しく。

坂とめのおいことばかり書きなぐつたが、あしからず、次号にも書き添へて載けるならば、んとかきとまつたものを書き添へて、書き度いと思ふ。

映画界と云ふ年を代表するキチキチ雑誌としてのびて行つていた書き度い、映画旬報、元と影はなとも仕方がない。他地へ出して笑はれるのでは困る。

X
 いやにむづかしい事を立てて自分にもわからず他人には勿論、吾人の寢言では一瞥
 斥する事を止めて欲しい。フアンが発刊するものはすなわしく、良いものは良い、
 悪いものは悪いと
 映画街の発展と フアン諸君の健康を祈る。

X 光と影への宣戦

福田 詩

此頃よく通つて、一人よかりのフアンが映画から思想を求めた。反対に、又娯楽
 より一步、見切をつけるものの知り顔のフアンがあつたりする。然しそれは映画をア
 ラミとして見たか、或は昔のくさうぬ映画の先入成念のよう解者で、即ちモフアン
 代表的人物である。
 所謂、私を、島田、河田、等々、然して彼等が所論は、あるいは増多的に、無謀的に
 難解の文字を駆使して、それを諺としてゐるのが、可笑しい。映画と云ふものは、萬
 衆的なものであつて、あへて難解の文字を駆使して、個人的ではく總てが萬衆的に、映
 画が萬衆的なものであつたり、その批評も萬々向に、所謂優しい言葉によつて人々の心

はを和ませるべきものである。

だが、現代、ゲレンスと近代人の生活と相違、持してゐる映画は知らないので、唯高踏的に
 利を下し得るとする現今の多く通ぶる、所謂智識階級だといつた得意なる顔付、をさす
 へ々よりも無一になつて、滑稽に見とれて、音楽が急調子になり足で一踏に調子を改め
 てゐる手際の万がど、正確に正しく、映画を鑑賞してゐることであらう。
 ゆへに、さういふ光と影の同人よ、今後の批評は、又まいて、映画して人々を引込
 ず、萬衆的の理解批評をして欲しい。もう一度あつて言ふ、映画の批判は、さうな
 してあつて、難読にせられ、もう一度、映画水にて顔を洗へ。

X 函館の友嘆く

河井 義子

先づ、私は、と云ふ者を自己紹介させて置きます。私は当年とつて拾六歳の乙女で、
 ぐさぐさ三校の二年生で、此の四月から幸にして落筆せしなけり。三年生になる筈で
 す。私の親は、そりやキキで、熱が盛んで、中では私が一番熱心だと自覺して居ります。
 大体私の親には西洋物と日本物との二派があります。けれど私はキキで、其物に

へ随分生氣でうう愛するが故に、お友達のやうに一方に偏在して西洋物も日本物もどつたり見ます。何時でもたが學校の歸りに、神田の良吉堂へ可つて、チヤウシンバ、バーセルメスに、ナヴァロに、月形陽子やん、都賀の静子やん、習子やん、などのフロマイドをバカバカしくと買ひ込んで、丁度店から出ようとした処を、丁度通り掛つた保身先生に見付かつて了ひました。逃げるに逃がつた私ほどとて、おま、爪付けをやらぬお静儀を一つ、パソコンとしました。先生は愛を預まされていつつしやいふした。それからいふものは、私の今、學期の修身のお話か、きつと意はしくないに違ひない

と云ふ、元々觀念にしよう、ちう装束されておまつ。此の間をどうも、朝晩夜を行き来本屋を覗いた。果して思つて通りには、マユノ、が未だおまつたので、早退して電車の中にも夢中な讀み紙けりしました。學校へ着いた夜業も、先生の講義なんか上の空で、丁度英語の時間でしたので、讀本の傍に開いて讀んでゐました。いさなり私の名を指されました。それも私の後の下子さんが、お尻をついて下でなかつたお、此度名を指されたのし氣づかなかつたかも知れません。慌て、私が立ち上つたお、悪いおとは出来ません、お、読し讀んでおた、マキ、電報がサツと落さちたてはありませんか、萬事休す矣、何です、それは？と先生がツカ、と教壇を下りていつつしやつて、雜誌をばらされて了ひました。(以下次号)



昭和四年をめぐる
平映画界の進出！

無水秋江

何事もなく唯寂寥そのもの、内にもう新らしき春は来てしまつた。外には凄まじい梅風が食料を私の家戸を叩きつけてゐる。寒い晩だ！誰も居ない！私一人煙煙のぬくみに失してゐると、徳生映画のそれ、が次から次へと糸のやうにたぐりれて行く。映画、つばさ、眞実、心に心から禮讃して止まない、之が日本で出来なると果敢ない望を懐く時、子供のやうに淋しい想ひが湧いて来る。鑑供養、闇、何れも短篇映画ではあるけれど、なまうなく美しい映画として、私は忘れられない。其の他、慈悲心、雪の夜話、送り討以上、など皆遠く、想ひ出の映画である。と云つて私は毎週、如く映画に接してゐないから、文以上もつと善い作品の幾多があつたらう。併し日活の大作物である、曾王環、清水次郎長、維新の京洛、等は優れてはいると云ふものの、あまり印象には残らない。

X X X X X X X

私は平館に入つてたまらなく淋しい。今は阪妻映画の次第に遠く影を消して逝く事を（人間は誰しも映画そのもの、善し悪しに拘はらず自己の崇拜する俳優の主演物が他の何れよりも善く見えるものである）と云ふと誰かが下品に、或は盲目ファンと冷笑するかもしれない。然し之が映画ではなからうか！

故て今此処に書き並べて見た事は昭和三年に残した寸感があるから、之よりぼつくと新香の希望感を並べて見よう。

日治、松竹、の高級映画を上映する、平館は之々に新らしく我々によき映画の便を與へて呉れるけれど前にも言つた通り、河部五郎や、傳次郎等の映画のみの交付にしないで、阪妻や右太衛門、外にロイドのスピーデーの上映されん事を切望する。さなくば、心から憧れてゐる故多のファンは早くも、あれど空しく想ひに次第々映画界から遠のいて行くに違ひないと思ふ。ついでにもう一つ松等の一番氣になる事は、小さき子等の無銭的開演する便所の如である。静かなる場面に魂を奪はれてゐるやうな時でもやがましく、ワタン、ガタン、戸の開る、瞬間の音、耳にはたまらなく痛い。だからあの戸にゴムでもつけらればと、聞くを、聞くを、聞きながら痛切に思ふ。

此が十一時を指した頃だ、表の戸が開いて、母が妹を連れて入つて来た。お母さ

ん！有聲屋面白かつた？

だが母は黙つてゐた、暫らくして、有聲屋はなんぞ寂しいだろうに一人言のやうに身をすぼめた。眞実にその言、私も直に感じたのです。

以前の有聲屋にくらべて、今はかなり新築して来た、有聲屋なのだが、幸キその現代劇の大時代劇、上流など、皆ファンに吸つてきほしき限りである。あのついで五日頃に記憶してゐたが、又々映画の（提）を觀に行つた時、後に立つてゐたら、外と変ない位の冷たい風が身に沁み込んで来た。あんまり寒いので、その日を認める為には、戸に手を当てて見た時、雨戸と家が、その間が約一寸程の差違があつて、そこから突する風の音に身がひしくとなつた、すると直に後から、新人の鈴木一章氏とやうが、何となく不可得せんやうな、なんて言ふ顔したので止むを得ず奥に這入つて座り込んでしまつた。

有聲屋の人々より、映画そのものよりも館内の設備をどうなにか急務して欲しいと訴へて言ひ度い。平西映画ファンを通じて。

今更だつて、唯も僕も存つてゐるやうな、好況は廻つて来そうにはない。そもそ
なう、益々縮まつてゆく、やれ切れない廻り合せてある。

何ものかの尉が女があるのと、同じやうに此の、
 何ものか尉には、手紙にも、
 何ものか尉にはある。
 一日への尉へは、ある。

一つの映画を通じて、多くのひとと共に、あるひはなき、あるひは、笑ひ、大いに
 激しく反抗する時もある。その無我の境こそは私の地上における樂園である。
 若僧と、あらゆる悲惨の拘束から解放される幸福境である。
 その間が私の生命でなければならぬ。併かも私はますますその生命であらう。

る意氣が、かんである。二、三後共に多々の映画をゆして、故多の々々と語り合ふ事をする。今静かに去りし昭和三角度以上映せる。マキノ映画中の傑作を懐古して、別れて見よう。

月形映画

勝
開

叔はれた子鬼の兄弟が、恩と愛とは甚
むさまで巧みに画いた逸品

雪の夜諸

ジャクホルバ氏原作
月形二役、井上監督
成功の作

アイヌの娘

国境を越へて、愛と自由主義映画

蹴合鷄

南光明入社第二回作品

捕吏

高木新平入第一回の作品、意外の傑作でした。

印子に残つたものは、此の位、マキノ映画の先途です。館頭に、買取部、送部、主

水の碁に澄みたる寂寥は静かに一部屋に流れて来る。夜更けの此の静けさには、何者の心も私をやり起す者がある。左へられぬ様に私は窓からそつと外を見えた。

から降り續いた雪はまをやみそうにもなく、サラ、サラ、と窓隙を打つ。東の方までと見ましても、高いボツエ樹の間には、三角山と圓山のマダシヤ並木とが、真白な雪に映して、寒々たる夜氣の中に、かすかに浮んでゐる。人々は互に楽しい夢の世界をこつて居るのに、なぜ私は寢もやれず、熱い泪がこみ上げてくる。びしりと電氣を消して、外の土にじつと考へて居ると又私をゆり起すものがある。影の生、影の悲、あざけるやうに私をじつと見詰めてゐる。そして、それが赤になつたり青になつたりして消へて行く。何知ともなく、メルリングのゑつてゐるやうに、なぜ私は幸福に生きる事か出来ないのである。いやどうして、現在の自分を幸福と云ひ得ようか、幾度か苦悶と云つたものを續けて来たか、めつ

我輩の情眼に就ては、監督セツト撮影脚色俳優等に幾時大別せられますか。拮据腐敗及び夫々の習性が統一された指圖に従ひ働く事に依つて、全篇の物語りも脚本として仕上つて来るのである。看拍が映画は画面である。映画は見る物語り、聞かぬ物語りの二つを讀み取つて致します。視覚と聞く聴覚の果敢に、事此展覧に、興味と好奇の眼を輝します。

も帯びて、各々の批判された演技を以つて、事件を定めます。恐らく演劇と映画と

へは、両者の人物自身に直接観客を惹きつけること、同じことです。

それは結局、俳優自身に監督よりも、撮影技術よりも、道具万よりも誰か一面の映画
分ける空間を後刻に与めてゐるかと、この價值論は扱て置いて、最も首肯と受け入れてゐ
る。今日の技術は以前で動かし得る。と言ひ別々といひ俳優である。俳優の価値は、
俳優が所属会社の幹部になり、ますとスターとして、彼の主演物も撮影止まり事になり
ます。それ故に俳優は、彼の演技が上達し、人氣を呼べる大の、吸引する俳優、
あるべき人、然し努力の演技の才能を唯永年の訓練で得て、その俳優は、
人と、特異なアクト、アルな性格の人氣を惹いて、一躍人氣にスターに昇進する人もあ
ります。俳優は性格の動く如く、必ず強力な魅力的気分や、何れも空想を、先づ俳優
として立つべきは、然るべき印象を與へるものであります。

演技以上のもの——俳優自身の柄——肉体的約束が最も重要な俳優自身の演劇
決定する。今日の演劇であり、

演技と言つても、それは俳優自身の秘蔵に誇張した所謂「藝」であつて、決定的
の人物である。俳優の文法として、彼の演技の、その表現を、
その、それは演技文を演技にする俳優、そののであります。

でありますが、此の裏には監督が出来る文、原作の人物と合致した性格俳優を求
めてあります。主演者は勿論の事、端役に至る迄厳正に相似た性格者を求める事、
取りも直さず原作を「現象化」する上に於て、最も大切な力点ではないかと思ひます。
斯うした場合と反対に、特異性の俳優を初めから念頭に置いて、彼の「後」
魅力の表現を中心として、物語りを作り、助演者も総て其の雰囲気、
あります。然しか、る場合は典型的に隨する事が最も懸念すべき問題でありまして、
に貴族に、新らしき材料を、新らしき演出に依つて行く時は、彼の持ち味は益々洗練
れてゐます。若し脚本に行詰つた場合は、早く止めて欲しい。それは、彼が早く付いて
を、自身の苦痛よりも、観客の苦痛はより以上に大きいからであります。

先づ、典型的に引例してみます。藝を演じ物にする俳優としてロンチャニイ、井上三
を挙げたいと思ひます。ロンチャニイの旨さは唯彼のクロムスク、
ないで、他の「オパハラ」ノートルダムにせよ彼の怪異な表現は性格的体質的
では、他の「オパハラ」俳優に演じさせても、彼の表現は困難ではないでせう。
・特異性のある俳優——それはなんと少い出現でせう。だが各々彼自身の気分の中
い、演技を續けてゐるのです。エシルヤニングス、シヨジバンク、ロウト、上山草人、

スティーブ・トーン、斎藤達雄、新井淳、八重寛美子、月形陽侯、大河内傳次郎、等々、
 グラスビッドはもうその彼等自身の獨自性を磨滅してしまつて、ノータル、コンタ、
 、ヘレン・コステロ、モッド・チャップリン、秋田伸一其他諸々の俳優には存在價值が確
 してあるかどうか疑はしいのです。

Aと云ふ配役に於て置き換へても、映画價值に就て、水面以下の動機を來たさない
 在は、スリリンの上に必要としないと思はれます。

獨自性は最も高くみえ、さうして是を育てたい。其処には映画の流れは澆滞してゐ
 いでせう。

、寧ろ新しい刺激と創作された世襲が今日より明日へと呼びかけてゐます。俳優の約
 束されし肉体的存在がもつと多方面から發生する、事に、期待を持ちたいと思ひます。

映画座談會 2月17日(第3回)午後7時より

映画ファン諸君、皆様の集りを待たせてゐます。破談
 五門 月形陽侯、船の合評會も開きます。會場各等
 場所 (寄附草詩社) 映画新社にて



月形陽侯の今後

高杉 錦之助

天野 一

は關して感想、印象、批評、等々

送前光は

東京市京橋區船場十四番地四丁目

中月安子宛

八月(章會)

月形映画後援



編輯余滴

福・田 將 夫

紙然！平陽映画館を出した。美しい少ぼけな、映画街、竹亭宮さん
今後共に可成りつて頂きます。

創刊號の編輯は全部、弟の福田たけ子にやて戴きました。僕はいま、この新
報條通さへ書くのが苦痛なのです。過勞幾日未だかつてこんな迄働いた事
のない僕の肉体、こんなには、映画街、発行に際しての苦心！普通ふん
頭の餌り良くない僕、前に種痘衰弱、肉体衰弱、だが弟が一生懸命に働いて
下されたものでどうやら、だが印刷のオッ、内容の拙いのは、字の不鮮明な
のなど未だ騰寫版印刷になれてゐない僕達です。この実は御承知して下さい
表紙のサイン、お忙し、中にお書き下された事を感謝いたします。東京の
福松一踏、中島品春、月野美知子、丘月子、小橋の山口弘治、菊地賢吉、
平のろ升、鈴木一、南村華の諸氏の至稿も戴き、皆でしが都合上間に合
なかつたのかイカンでした。當勞美知子、所因英二、阿井義子、の諸氏に此
い中に原稿下されし事を、御禮申します。次号は東京の騰寫版印刷に
願ふ事に致しました。一ツニ諸氏よ、映画街の爲に後援の程願ひ上げます。



美しき
にヤシスの倉り
かぞかなる
人形のささやき
春香 春

平 白 錦町
マルカ書店

フクフクフク
泡の呼吸です
さうさうさう
刷毛の躍りです
さあお嬢さん
こんなきれいに
なりました
平 四町 局裏

三々々 流張店



映画街 景観聖規・その他

一、映画街は純真なる平陽映画フマと
正しき映画研究家のついであります。
一、映画街の投稿は誰でも自由です。
一、投稿は必ず原稿用紙に、そして字は
楷書で各篇それぞれ別紙にみづとめ
下さい。

募集種目

映画に関するもの

詩、短歌、批評、感想、戯曲

(制限四枚以内)

原稿×切 二月廿五日

昭和四年二月七日印刷
昭和四年二月十日発行

同人

福田 重水 敬江 武

編輯

福田 武

発行所

福田 重水 敬江 武
發行所 詩社

主宰 福田 敬夫

頒價 一部 拾銭

思つたり出来上つた映画街は貧弱
かつた、おが参る延びようとして
小社の貧弱さをもくんで飾り
空しく弱む
将
え

石井孝子兄